

あとがき

厚生労働省がメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防のための健診義務化を発表して以来、医学関連部門ではその準備に大わらわである。医療関係者にとってすらも目新しい言葉であった、“メタボリックシンドローム”という言葉がテレビのコマーシャルにまで登場し、老若男女に広く普及してしまっている。“成人病”が“生活習慣病”に呼び方が変化したように、これからは、“メタボリックシンドローム”が“生活習慣病”に変わって使用される可能性がある。世間的には、“メタボリックシンドローム”を短縮した“メタボ”という言葉が大手を振って通用しているようである。

ともかく、厚生労働省の「プロセス重視の保健指導」から「結果を出す保健指導」への方針転換は、非常に良い方向転換であると考えている。厚生労働省はこの新方針の成果として、医療費削減を主要な目的として掲げているようであるが、そのような小さな(?)意味合いではなく、もっと本質的な重要な医療改革の契機になる可能性があると思っている。予防医学の重要性が謳われてから随分時間が経過しているようであるが、いまだに、現実の医療制度のなかで予防医学を実践できるような体制は構築されていなかったといっても過言ではない。今回のメタボリックシンドローム健診義務化は、現実の医療の場に予防医学を制度として組み込む契機になる可能性があるし、そこまで進めてゆくべきだと考えている。

もう一つの視点は、医療の標準化である。健診検査各項目について、全国的な判断基準を作成しないことには、健診受診者を層別化し保健指導をすることができない。その場合、検査結果は全国的に標準化されていないことには共通の判断基準作成は不可能である。また、その判断基準で層別化された集団の保健指導もそれぞれの層で標準化されることになる。この考え方は、疾病の診断・治療にそのまま当てはめることができるのである。メタボリックシンドローム健診の義務化は、医療の標準化の推進にも有効な方向性であると考えている。学生時代に、時の日本医師会会長が「医学は学問ではない」と発言しておられるのを何かで読んで憤慨したのを思い出すが、今や、分析結果を科学的基準で判定し、受診者を層別化(診断)する。その診断(層別化)に対応する治療指針に従って治療する方向性がつけられれば、医療も堂々と学問の領域に仲間入りすることができる。メタボリックシンドローム健診義務化がこれだけで終わらないで、予防医学の実践化と医療の標準化にまで進んでゆくことを祈念している。

(濱崎直孝)

バックナンバー 「今月の主題」一覧

第49巻(2005年)

13号 メタボリックシンドローム

第50巻(2006年)

- 1号 PK/PD 解析を指標とした感染症治療
- 2 花粉症克服への展望
- 3 採血
- 4 検査室におけるインシデント・アクシデント
- 5 腎疾患と臨床検査
- 6 健康食品と臨床検査
- 7 ホルモン固定パラフィン包埋標本からどこまで遺伝子検索は可能か?
- 8 皮膚科と臨床検査
- 9 高齢者の臨床検査値
- 10 認知症の動的神経病理
- 11 海外旅行と臨床検査
- 12 (増刊号)ナノテクノロジーとバイオセンサ
- 13 臨床検査史—国際的な流れとわが国の動向

第51巻(2007年)

- 1号 乳癌と臨床検査
- 2 尿路感染症の診断
- 3 血管超音波検査
- 4 悪性リンパ腫
- 5 脂質
- 6 骨粗鬆症と臨床検査
- 7 不整脈検査
- 8 ヒト乳頭腫ウイルス(HPV)と子宮頸癌
- 9 フローサイトメトリー
- 10 白血病

〔バックナンバーのお取り扱い〕

第50巻第1号以降は医学書院販売部がお取り扱いします。それ以前のものは(株)東亜ブック(東京都豊島区池袋4-13-4、電話03-3985-4701、FAX03-3985-4703 <http://www.toabook.com/>)がお取り扱いします。

臨床検査 (第51巻第11号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

2007年11月15日発行(毎月1回15日発行)

定価1,785円(本体1,700円+税5%)

2007年年きめ予約購読料 25,980円(送料弊社負担・増刊号を含む13冊)

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5712

ファクシミリ (03) 3815-7802/3815-7982

E-mail: rinshokensa @ igaku-shoin.co.jp

担当 柴崎・福田・小松原

印刷所 三美印刷(株) ☎ (03) 3803-3131

広告申込所 (株)東広社 ☎ (03) 3409-8803

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- ・ JCLIS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物)
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670、FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。
- ・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
「臨床検査」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinshokensa/>